



Kobe City Medical Center General Hospital

NEWS

No.94

中央市民病院ニュース



断らない救急と
 質の高い医療を市民のために

院長 貝原 聡

Contents

院長就任のごあいさつ	貝原院長 …… 1	連携登録医登録	
副院長就任のごあいさつ 麻酔科	美馬副院長 …… 2	医師異動のお知らせ …………… 5	
部長・部長代行 外科	成田部長	新規連携登録医療機関	
就任のごあいさつ 呼吸器外科	本山部長	外来診療担当医一覧表	
脳神経外科	今村部長	当院のPET/CT検査について …………… 6	
放射線治療科	池田部長	WEB・FAX予約のご案内	
小児科・新生児科	岡藤部長代行	緊急転送・HOTライン …………… 7	

病院長 就任のごあいさつ

このたび、2020年より長きにわたり当院を力強く導いてこられた木原院長の後任として、神戸市立医療センター中央市民病院の院長を拝命いたしました。身の引き締まる思いとともに、その責任の大きさをあらためて感じております。

私は神戸で育ち、大学進学を機に一度は神戸を離れましたが、2007年に外科医として当院に戻って以来、地域の皆さまとともに医療に向き合ってきました。日々の診療を通じて、市民病院が果たすべき役割の大きさを強く実感しています。

木原前院長のもと、当院は新型コロナウイルス感染症への対応や医師の働き方改革など、これまでにない課題に直面しながらも、職員一丸となって取り組んできました。しかし現在、医療を取り巻く環境、とりわけ病院経営は非常に厳しい状況にあります。だからこそ、地域の医療機関の皆さまと力を合わせ、地域全体で医療提供体制を守り抜く姿勢が、これまで以上に大切だと感じています。

市民病院は、神戸市民にとっての「最後の砦」として、救急医療、がん医療、周産期医療など、命を守る医療を確実に提供し続ける責務を担っています。ただ、その役割は当院だけで完結するものではありません。地域の医療機関の皆さまと連携し、それぞれの強みを生かし合うことで、神戸全体としてより良い医療を届けられると考えています。これからも、医療の質を守りながら、持続可能な運営体制づくりを進めるとともに、職員が力を発揮しやすい環境を整えてまいります。そして、皆さまと緊密に連携しながら、神戸の医療をより強く、より温かいものにしていきたいと思っています。

地域医療を支えてこられた皆さまのご尽力に心より敬意を表するとともに、今後とも変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。神戸の未来の医療を、ともに守り育てていければ幸いです。

貝原 聡 (かいはら さとし)

1987年京都大学医学部卒業、1988年赤穂市民病院、1994-1999年京都大学大学院、ボストン小児病院、マサチューセッツ州総合病院 (MGH) にて臓器移植・再生に関する研究にて医学博士取得、2000-2003年京都大学病院にて肝臓移植の臨床に従事、2003-2007年京都府立医科大学にて准教授、生体肝移植立ち上げ、2007年より神戸中央市民病院外科所属、2011年より外科部長、2022年より副院長を務める

病院長 貝原 聡



副院長就任のごあいさつ

このたび、2026年4月1日付で副院長を拝命いたしました、美馬裕之と申します。平素より当院と連携していただいております各医療機関の皆様には御礼申し上げます。

私は2017年から麻酔科・集中治療部長として主に手術室、ICUの管理と臨床倫理相談を担当してまいりました。当院は断らない救急を標榜し、日夜救急車を受け入れておりますが、救急医療を成り立たせるにはその先の各部門が機能していなければなりません。緊急手術をいかにスムーズに受けられるかもそのひとつで、ロボット手術等に代表される高度先進医療としての予定定期手術との両立に手術室運営は大変難しい問題を抱えております。コロナ禍を潜り抜けた現在もその難しさは変わりません。引き続き改善に取り組む所存です。

コロナ禍といえば間違いなく大災害でしたが、思い返しますと災害と呼べるものは神戸にはこれまでも多くありました。阪神淡路大震災、新型インフルエンザ、コロナ禍とつづき、現在は医療経営難という災害が全国レベルで襲っているようです。私は安田副院長の後任として、救急担当を務めさせていただく予定です。ともに専攻医として神戸の大地震を経験した有吉救急部長と力を合わせ、救急受入れから入院・手術・集中治療、そして地域での療養へとつながる医療の流れが滞りなく機能するように、院内各部門の連携強化に取り組んでまいります。医療はネットワークです。皆様からご指導ご鞭撻を賜りながら、ともに医療者として成熟していくことを目指し、精進したいと思っています。どうぞこれからも宜しくお願い申し上げます。



副院長 美馬 裕之

外科・移植外科部長 就任のごあいさつ

私は神戸で生まれ育ち、兵庫県立御影高等学校を卒業いたしました。1999年に大阪医科大学を卒業後、神鋼病院で外科医としての第一歩を踏み出し、京都大学大学院で学位を取得後、2年間フランス・ストラスブール大学で外科レジデントとして勤務しました。フランスでは、覚えたてのフランス語で毎朝患者さんに「Vous avez des gaz? (おならは出ましたか?)」と聞き回っていました。ところがある日、教授に呼び出され「変なアジア人が毎朝来ておならの確認をするけど、私は甲状腺の手術をしたのに!と患者に怒られたぞ」とこっぴどく叱られました。このエピソードは今でも笑い話として語り草ですが、私の医療に対するコンセプトそのものです。「(たとえ言葉が完璧に通じなくても)患者さんとのコミュニケーションを大事にする」私はこの姿勢を研修医時代から今日まで、一貫して大切に守り続けています。帰国後は京都大学肝胆膵移植外科、国立病院機構京都医療センターにて肝胆膵外科高難度低侵襲手術の執刀と若手の育成に邁進してまいりました。2023年10月に当院へ着任し、この度、愛する故郷・神戸の基幹病院で舵取りを任されることとなり、強い使命感を感じております。当院外科は、以下の3つの大きな柱を軸に、常に進化を続けています。

1. ロボット・腹腔鏡手術による「高難度低侵襲治療」

食道、胃、肝胆膵、大腸、直腸のすべての疾患において、最新の手術支援ロボットを用いた手術が可能。各領域に熟練した資格を有するスペシャリストが在籍しており、外科手術のほとんどをロボットもしくは腹腔鏡下で行うことで、患者さんの早期社会復帰を強力にサポートします。

2. 24時間365日、断らない「救急外科」

神戸市の「最後の砦」として、救急科と密接に連携し、いかなる緊急手術も24時間体制で受け入れています。重症度に関わらず、迅速に最適な手術を提供できる体制を整えています。

3. 専門性を極めた「ヘルニアセンター」

当センターでは、一般的なメッシュを用いた手術だけでなく、日本で当院のみが実施可能な「メッシュを使わない組織修復術」や、治療が難しいとされる「鼠径ヘルニア術後慢性疼痛」への専門外来も開設しております。他院で解決しなかったお悩みにも、専門医が真摯に向き合います。

すべての患者さんに「ここで手術を受けて良かった」と言っていただけるような医療を実現すべく、高い技術を提供し、患者さんの声に耳を傾け、地域の先生方とも緊密な連携を保ちながら、神戸の基幹病院としての役割を遂行していく所存です。



外科・移植外科
ヘルニアセンター長
部長 成田 匡大

呼吸器外科部長 就任のごあいさつ

2026年3月1日付で呼吸器外科部長を拝命いたしました本山秀樹と申します。

神戸で生まれ育ち、何かあると当院を受診していた思い出があります。神戸高校ラグビー部に所属し試合で負傷した際に治療を受けたのも当院でした。

産業医科大学に進学し、研修後に京都大学呼吸器外科に入局しました。大学院卒業後は助教として胸腔鏡手術、肺移植、血管・気管支形成など、多くの経験を積ませていただきました。この経験は近年目覚ましい進歩を遂げている胸部腫瘍治療に大きく貢献できるものと考えています。

肺および縦隔腫瘍の手術は従来の胸腔鏡手術に加え、単孔式胸腔鏡手術やロボット支援下手術が選択可能で、希望や腫瘍の状況に応じて使い分けています。また、進行肺癌では免疫療法や分子標的薬を組み合わせることで大きく予後を改善できる一方で、有害事象に対するより迅速な対応が求められるようになりました。当院は救急をはじめ専門分野が高度に整備され、多職種連携による最適な治療提供が可能です。地域の先生方から信頼いただけるよう責任を持って対応していきたく思います。

高校3年生の時に震災を経験し「もう戻れないかもしれない」と思いながら神戸を出て、8年前に西神戸医療センターに戻ってくることができました。そして2026年3月から引き続き神戸のために働くチャンスをいただけたことを感謝しております。

当院に赴任して感じたのは、高度な医療レベルを有するスタッフ医師だけでなく、やる気に満ちた若い医師、コメディカル、事務職員が多く在籍しているということです。今後の医療を担う人材が存分に力を発揮できる環境を整え、「家族、友人に受けてもらいたい医療」を継続的に提供することが、神戸からいただいた恩に報いる道だと考えております。

今後とも温かいご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器外科

部長 本山 秀樹

脳神経外科部長 就任のごあいさつ

脳神経外科部長を拝命いたしました今村博敏と申します。

私は1998年に京都大学医学部を卒業後、当院の前身である神戸市立中央市民病院で医師人生をスタートし、1998年から2004年までの6年間と2007年から2022年までの15年間、当院脳神経外科で勤務してまいりました。そして国立循環器病研究センターで4年間研鑽を積み、このたび脳神経外科部長として戻ってくる機会をいただきました。

脳卒中診療においては、「Time is Brain」という言葉に象徴されるように、1分でも早い搬送と治療が重要です。当院の理念である「1年365日、24時間、断らない救急医療」を体現し、「脳卒中になっても困らない町 神戸」の実現を目指してまいります。

また当院では、脳血管疾患に対する予防的外科治療や血管内治療、良性・悪性を含めた脳腫瘍の外科的治療・放射線療法・化学療法、さらに内分泌内科と連携した下垂体腫瘍の外科治療、脊髄・脊椎疾患に対する手術など、幅広い脳神経外科診療を行っております。そして、それぞれの分野において専門医を中心とした体制を整え、高度で専門性の高い医療を提供していきたくと考えています。

私はこれまで脳神経外科救急を志し、当院で医師としての大半のキャリアを歩んできました。伝統ある神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科をさらに発展させ、最新かつ最善の脳神経外科医療を提供できるよう尽力してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



脳神経外科

部長 今村 博敏

放射線治療科部長 就任のごあいさつ

2026年4月1日付で、放射線治療科部長を拝命いたしました池田格と申します。

私は2004年に鳥取大学を卒業後、同附属病院にて初期研修を行い、放射線治療の道を志しました。その後、第一線で活躍する医師を多数擁する京都大学に入局し、倉敷中央病院での研修、京都大学大学院での研鑽を経て、静岡市立静岡病院、滋賀県立総合病院にて診療に従事してまいりました。2025年4月より当院に勤務しております。

近年、放射線治療は高精度化・個別化が進み、がん診療における役割はますます重要となっております。一方で、治療精度は装置の性能に大きく依存します。前任の小久保部長のご尽力により、リニアックや小線源治療装置、治療計画用CTの更新が順次進められており、本年7月にはすべて最新の設備へと更新されます。これにより、より迅速かつ高精度な治療の提供が可能となります。この恵まれた環境を生かし、最新の知見と技術を取り入れながら、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供できる体制の構築に努めてまいります。

また、放射線治療は各診療科からのご紹介により成り立つ分野であり、多くの診療科との連携が不可欠です。加えて、医師、放射線技師、医学物理士、看護師、クラーク、事務職員など、多職種が一体となって診療にあたっております。当科は、こうした多様な職種が円滑に連携できる強みを有していると自負しており、今後も各科・各部門との協働体制を一層強化し、チーム医療のさらなる充実を図ってまいります。地域医療機関との連携も一層深め、地域全体の医療の質の向上に寄与していきたいと考えております。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。



放射線治療科
部長 池田 格

小児科部長代理 就任のごあいさつ

2026年4月より、小児科部長代行を拝命いたしました岡藤郁夫です。

但馬にルーツを持ち、姫路で生まれ育ちました。愛媛大学医学部を卒業し、学生時代はワンダーフォーゲル部で全国の山野を歩いておりました。京都大学小児科を基盤に、京大病院・島根県立中央病院・静岡県立こども病院などで感染症・免疫・アレルギーを中心に小児科医として研鑽を積み、京大大学院での研究生生活（自己炎症疾患）を経て、当院には2007年より勤務しております。

この20年で小児医療は大きく変化しました。ワクチンの普及により重症感染症は減少し、私たちの役割は「命を救う医療」から「子どもの未来を支える医療」へと広がっています。

当科では、新生児医療や急性期疾患だけでなく、食物経口負荷試験の定着、スキンケア入院、アレルギー免疫療法の推進など、多職種でアレルギー診療の質向上に取り組んできました。また、起立性調節障害や睡眠障害など、生活に深く関わる課題にも対応し、生活全体を支える医療を実践しています。

総合病院の小児科は、地域の子どもと家族を支えるハブであるべき存在です。専門的な評価や入院医療を担いながら、地域の先生方と役割分担し、安心してご紹介いただける体制をさらに強化してまいります。

少子化が進む今だからこそ、子どもと家族を支える医療の価値はますます重要になります。地域全体で子どもを支えることで、「子どもを育てたい」と思える社会づくりに貢献していきたいと考えております。

「紹介するほどではないが気になる」症例でも構いません。どうぞお気軽にご相談ください。

地域の先生方とともに、子どもたちの未来を支えていければ幸いです。



小児科・新生児科
部長代行 岡藤 郁夫

お済みでない方へ
連携登録医の登録が

登録いただくとして
連携登録医として

- ▶ インターネット予約システムをご利用いただけます
- ▶ 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
- ▶ 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
- ▶ 図書館など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
- ▶ 来院時の駐車場料金を無料にいたします
- ▶ 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
- ▶ 紹介患者さんに対する診療および入院の対応を迅速に行うよう努めます
- ▶ 病院ニュースやオープンカンファレンス、講演会をご案内させていただきます

登録方法

●WEBよりお申込み希望の方 こちらよりご登録ください。
<https://forms.gle/32hobeqNDqGCJ7mX7> ▶



●FAXでのお申込みを希望の方

当院HPの「連携登録医について」のページにございます申込用紙をお送りください。

申込用紙のダウンロード

▶ 当院 HP

▶ 医療関係者の方へ

▶ 当院の地域医療連携について

▶ 連携登録医

<https://chuo.kcho.jp/medical/regional/registered>

FAX番号：078-302-4424

その他の詳細は、当院HPをご覧ください。

医師異動のお知らせ

※医員以上のみ

退職（転出）者 <12月～3月>			
退職（転出）年月日	診療科名	補職名	氏名
R8.2.28	総合内科	医長	志水 隼人
R8.2.28	病理診断科	医長	伊丹 弘恵
R8.2.28	呼吸器外科	医師	山田 徹
R8.3.31	救急科	副医長	河合 嘉一
R8.3.31	救急科	副医長	坂谷 朋子
R8.3.31	救急科	副医長	出田 健人
R8.3.31	救急科	医員	渡部 博明
R8.3.31	呼吸器内科	医長	永田 一真
R8.3.31	膠原病リウマチ内科	任期付	越田 祐旭
R8.3.31	産婦人科	副医長	白神 碧
R8.3.31	産婦人科	副医長	山添 紗恵子
R8.3.31	耳鼻咽喉科	医長	大八木 誠児
R8.3.31	消化器内科	医長	藪内 洋平
R8.3.31	消化器内科	任期付	森久 芳樹
R8.3.31	小児科・新生児科	部長	濱畑 啓悟
R8.3.31	小児科・新生児科	任期付	木原 崇志
R8.3.31	整形外科	任期付	瀬川 湧生
R8.3.31	脳神経外科	部長	太田 剛史
R8.3.31	脳神経外科	任期付	山元 康弘
R8.3.31	脳神経内科	副医長	細木 聡
R8.3.31	泌尿器科	医長	柴崎 昇
R8.3.31	泌尿器科	副医長	赤木 直紀
R8.3.31	泌尿器科	副医長	五十嵐 篤
R8.3.31	放射線治療科	副医長	稻生 浩之
R8.3.31	放射線治療科	部長	小久保 雅樹
R8.3.31	集中治療フェロー	医師	山本 亮
R8.3.31	心臓血管外科	医長	中根 武一郎

採用者 <1月～4月>			
採用年月日	診療科名	補職名	氏名
R8.4.1	呼吸器内科	任期付	伊部 匡晃
R8.4.1	呼吸器内科	任期付	齊藤 正一郎
R8.4.1	呼吸器内科	副医長	神戸 寛史
R8.4.1	膠原病リウマチ内科	医長	辻 英輝
R8.4.1	産婦人科	任期付	上田 三郎
R8.4.1	産婦人科	任期付	中村 美裕
R8.4.1	耳鼻咽喉科	医長	山田 光一郎
R8.4.1	消化器内科	副医長	小林 拓哉
R8.4.1	消化器内科	任期付	山村 総一郎
R8.4.1	消化器内科	任期付	高折 克至
R8.4.1	消化器内科	任期付	小川 慧人
R8.4.1	小児科・新生児科	任期付	國府 徹
R8.4.1	小児科・新生児科	任期付	石田 綾
R8.4.1	小児科・新生児科	任期付	榎田 千晶
R8.4.1	整形外科	任期付	久保田 雅哉
R8.4.1	脳神経外科	部長	今村 博敏
R8.4.1	脳神経内科	医員	太田 和馬
R8.4.1	脳神経内科	任期付	前田 周吾
R8.4.1	泌尿器科	医長	上山 裕樹
R8.4.1	泌尿器科	医長	日紫喜 公輔
R8.4.1	泌尿器科	任期付	藤原 佑
R8.4.1	放射線治療科	副医長	米山 正洋
R8.4.1	麻酔科	任期付	カイザー 柚花
R8.4.1	麻酔科	副医長	桂 欣宏
R8.4.1	麻酔科	副医長	山田 勝平
R8.4.1	麻酔科	副医長	滝西 史麻
R8.4.1	麻酔科	任期付	吉田 晴香
R8.4.1	歯科・歯科口腔外科	副医長	甲斐 彩華
R8.4.1	集中治療フェロー	フェロー	吉村 和樹
R8.4.1	集中治療フェロー	フェロー	飯田 櫻子
R8.4.1	集中治療フェロー	フェロー	浅井 亮太
R8.4.1	心臓血管麻酔フェロー	フェロー	藤川 翔
R8.4.1	心臓血管外科	医員	井上 瑛介
R8.4.1	心臓血管外科	副医長	原 寛幸
R8.4.1	精神・神経科	医員	岩崎 笙
R8.4.1	総合内科	医員	山下 新菜
R8.4.1	総合内科	医員	北川 菜々子
R8.4.1	感染症科	医長	大倉 敬之

採用者 <1月～4月>			
採用年月日	診療科名	補職名	氏名
R8.2.1	産婦人科	医長	原田 文
R8.3.1	呼吸器外科	部長	本山 秀樹
R8.4.1	救急科	医員	下川 岳人
R8.4.1	救急科	医員	工藤 溪奈
R8.4.1	救急科	医員	池田 翔太
R8.4.1	形成外科	医長	松添 晴香
R8.4.1	外科	医長	田中 英治

新規連携登録医療機関

区別住所50音順で掲載しております。(2025.11.1~2026.4.1時点)

区/市	連携登録医療機関名	住所
東灘区	おかもと乳腺クリニック	神戸市東灘区本山中町
灘区	神戸ヒコ在宅クリニック	神戸市灘区森後町
中央区	神戸三宮さのした内科 消化器内視鏡クリニック	神戸市中央区布引町
	神戸みらい予防クリニック	神戸市中央区北長狭通
	兵庫県警察本部 厚生課健康管理センター	神戸市中央区下山手通
兵庫区	うみあかりクリニック	神戸市兵庫区浜崎通
	高橋歯科医院	神戸市兵庫区五宮町
長田区	医療法人社団西日本平部会みんなの在宅クリニック神戸	神戸市長田区西尻池町
	神戸すどうクリニック	神戸市長田区大橋町

区/市	連携登録医療機関名	住所
北区	安部内科婦人科クリニック	神戸市北区有野中町
	くらた内科・リウマチ科クリニック	神戸市北区緑町
須磨区	神戸板宿クリニック 整形外科・皮膚科・美容皮膚科	神戸市須磨区前池町
垂水区	おぎのこどもクリニック	神戸市垂水区日向
	すぎた耳鼻咽喉科	神戸市垂水区青山台
	ともつ耳鼻咽喉科医院	神戸市垂水区日向
	ながかわ歯科クリニック	神戸市垂水区舞子台
	藤原内科・循環器科	神戸市垂水区舞子台
西区	井上クリニック外科胃腸科	神戸市西区王塚台
市外	潮江診療所	尼崎市下坂部

外来診療担当医 一覧表

右記のQRコードよりご覧いただけます。
また、下記よりダウンロードもいただけます。



[当院 HP](#) ▶ [外来受診の方へ](#) ▶ [外来診療担当医一覧表](#)

※内容が変更する場合がございますので、ご注意ください。



当院のPET/CT検査について

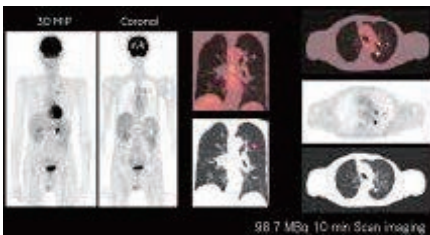
地域医療機関からのPET/CT検査依頼を受け付けています

- 院内にサイクロトロンを備え、PET薬剤 (FDG) を自家合成。品質検定を経た薬剤を使用し、体重に応じた適正量の投与が可能です。これにより、高品質で安定した画像を提供します。
- 5リング搭載の高感度型PET/CT 装置 (GE Healthcare社製 Discovery IQ) を導入。従来機よりも低被ばく・高画質の検査が可能です。
- 患者さんのご希望日時に配慮した柔軟な検査予約が可能です。



地域医療機関の先生方へ (ご依頼時の注意)

- 悪性腫瘍 (早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む) に対する病期診断・再発・転移の評価においてのみ保険適用となります。
- 悪性腫瘍の疑いに対する良悪性の鑑別、治療効果判定 (悪性リンパ腫を除く) は、保険適用外となりますのでご注意ください。
- 他の画像検査 (CTやMRI) で診断が確定できない場合にご依頼ください。
- PET/CT検査前には、必ずCTまたはMRIを施行し、その画像データを持参くださいますようお願いいたします。



検査のご予約には、下記の書類をご準備のうえFAXでお送りください。

- PET-CT検査予約用紹介状 ● 検査に関する同意書 (押印済みのもの)

※いずれも記入漏れがある場合は予約をお受けできませんので、十分にご留意ください。
※書類の原本は、検査当日に患者さんにご持参いただくようお願いいたします。
※検査予約申込はFAXのみとなっています。ご了承下さい。

申込用紙のダウンロードはこちら

[当院 HP](#) ▶ [医療関係者の方へ](#) ▶ [WEB・FAX予約のご案内](#) ▶ [FAX予約申込書一覧](#)

<https://chuo.kcho.jp/medical/general/>

予約専用TEL
078-302-6031

予約専用FAX
078-302-2251

WEB・FAX予約のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんについてはWEB・FAX予約をお願いいたします。WEB・FAX予約をしていただくことで患者情報の事前登録や、診療の準備ができ、患者さんの待ち時間が短くなり円滑な診察・検査に繋がりますので是非ご利用ください。

WEB予約について

- ①インターネット (WEB) 紹介予約システムにログインし、ご予約をお取りください。先生方の操作で空き状況の確認及び予約日時の確定をすることができます。
- ②貴院で即予約券の発行ができますので、患者さんへお渡しください。



<https://www3.e-renkei.com/hospital/kcho-gh/login.php>

※紹介予約システムのご利用には事前登録 (連携登録医の登録) が必要です

FAX予約について

- ①紹介状をFAX送信
「診療情報提供書」を当院患者総合支援センターの予約専用FAXへ送信してください。
- ②予約券を返信
紹介状のFAXを受診後おおむね20分以内 (営業時間内) に「予約報告書 (上段) 兼初診予約券 (下段)」を返信いたします。
- ③予約券・紹介状のお渡し
「予約報告書 (上段)」は貴院で保管し、「初診予約券 (下段)」および「診療情報提供書 (紹介状)」を患者さんにお渡しください。

申込用紙のダウンロードはこちら

当院 HP ▶ 医療関係者の方へ ▶

WEB・FAX予約のご案内 ▶

FAX予約申込書一覧

<https://chuo.kcho.jp/medical/general>

予約専用TEL : 078-302-6031

予約専用FAX : 078-302-2251

※患者さまの診察内容が診療情報提供書に添付していただき、当院に届くまで診療情報提供書は「紹介状」として扱われます。紹介状の診療情報提供書は、紹介状の診療情報提供書として扱われます。

※予約券の発行は、予約報告書 (上段) 兼初診予約券 (下段) を返信していただき、患者さまの診察内容が診療情報提供書に添付していただき、当院に届くまで診療情報提供書は「紹介状」として扱われます。

※予約券の発行は、予約報告書 (上段) 兼初診予約券 (下段) を返信していただき、患者さまの診察内容が診療情報提供書に添付していただき、当院に届くまで診療情報提供書は「紹介状」として扱われます。

※予約券の発行は、予約報告書 (上段) 兼初診予約券 (下段) を返信していただき、患者さまの診察内容が診療情報提供書に添付していただき、当院に届くまで診療情報提供書は「紹介状」として扱われます。

- ①まず赤枠のみ記入して送信してください。
- ②お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。

緊急受診・転院のお問い合わせは
下記までご連絡ください

平日 9:00 ~ 17:00

患者総合支援センター

078-302-5172

※医療機関専用です。患者さんには知らせないでください。

上記以外の時間帯

緊急外来受付

078-302-4321 (代表)

脳卒中、胸痛、産科母体搬送・産褥搬送、
小児救急、整形外科の緊急時のご相談は
下記のホットラインまでご連絡ください。

脳卒中 ホットライン 078-302-8030

胸痛 ホットライン 078-302-6162

産科 ホットライン 078-302-5104

小児科 ホットライン 078-302-5343

整形外科 ホットライン 078-302-4479

当番医師が24時間365日直接対応いたします



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
Kobe City Medical Center General Hospital
〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel : 078-302-4321 Fax : 078-302-7537
FAX予約 Tel : 078-302-6031 Fax : 078-302-2251
患者総合支援センター Tel : 078-302-4321(代) Fax : 078-302-4424

診療情報提供書等は、患者総合支援センターへFAXしてください